

分科会「Z世代の会」で、環境省「再エネスタート」とのコラボ企画  
「Z世代キャリア座談会」を開催しました

2022  
1.26 WED  
19:00~20:00

再エネスタート  
はじめてみませんか 再エネ活用

Z世代の官民座談会  
「気候変動対策を  
キャリアにするとは？」

環境省 × 再エネ大手 × “エシカル就活”

再エネ推進新電力協議会（REAP）の分科会「Z世代の会」は2022年1月26日、環境省の再生可能エネルギーの認知拡大や利用を促進することを目的としたキャンペーン「再エネスタート」とコラボレーションし、「Z世代の官民座談会「気候変動対策をキャリアにするとは？」」と題したキャリア座談会を開催しました。

※当日のアーカイブ動画はこちら

<https://www.youtube.com/watch?v=qpy3FgeRpo>

イベントでは、電力系 YouTuber の棚瀬啓介氏をファシリテーターに、気候変動に携わるZ世代のパネリストとして環境省から鎌倉真奈氏、Z世代の会からUPDATER 鈴木ジュリア、Loop 坪井友里香、juwi 自然電力岩崎光太郎が登壇しました。さらに就活プラットフォーム「エシカル就活」を運営するAllesgood 代表の勝見仁泰氏をゲストに招き、「気候変動対策を軸にしたキャリア」について対談しました。



## Z世代のキャリア選択—SDGs・社会課題解決を重視

「気候変動や再エネに関心をもった理由は？」「仕事のやりがい？」といったテーマでのディスカッションに加え、就活生から寄せられた質問に対しパネリストが回答する座談会形式で進行されました。

「なぜ再エネに関心を持ち、現在のキャリアを選んだのか」というテーマでは、幼少期から興味があったという意見もある一方で、UPDATER の鈴木は、元々の関心は労働問題や人権問題だったと言います。「UPDATER は、多くの社会問題の根本的な要因は“消費者から生産者の顔が見えないこと”だと考えています。その考えに共感して入社を決め、結果的に再エネにたどり着きました」と話しました。環境省の鎌倉氏も「私の職場にも、元の関心は地方創生で、再エネをその手段として地域脱炭素に取り組んでいる人もいます」と話し、再エネに関心をもつきっかけも多様であることが分かりました。

「どの企業を選べば良いのかが分からない」という質問も就活生から多く寄せられました。

Allesgood 勝見氏は、「今後カーボンニュートラルへの対応は企業にとって義務になっていきます。でも義務でやらされている企業ではなく、カーボンニュートラルを手段として“新しい未来を作っていこう”というビジョナリーな企業を選んで欲しい」と強調しました。

## 気候変動対策を軸にしたキャリアのすすめ

イベントの中で登壇者が口をそろえたのは、「気候変動に関わるキャリアはやりがいがある」ということ。juwi 自然電力の岩崎は「入社して3年だが太陽光発電の開発案件がどんどん大きくなっていて、再エネ業界はどんどん大きくなっていると日々実感している」と発言しました。

2020年に2050年カーボンニュートラルが宣言されて以降、社会は“脱炭素革命”ともいわれる急激な変革の時を迎えています。イベントの最後で、主催者でもあるLoopの坪井は、「Z世代は2050年までの30年間をフルでキャリアを送れる黄金世代。是非気候変動対策に関わるキャリアを選んで欲しい」というメッセージで会を締めくくりました。

## 分科会「Z世代の会」について

Z世代の会はREAP分科会で、正会員企業の20代若手有志により構成されます。

「再エネについてよく知らない人に寄り添いながら、若いからこそ情熱とフレッシュさで、再エネの魅力を広める」をコンセプトに、2021年9月に結成されました。2022年2月現在、全国から11社21人の若手が参加し、再エネのPRにつながるような活動を行っています。



▲Z世代の会結成時の集合写真

今後も再生可能エネルギーを推進する新電力の業界団体であるREAPは、関係各所と連携しながら再生可能エネルギー普及のための活動を続けてまいります。